



IRIS活動報告集Ⅲ

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-02-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10466/14792 |

IRIS 第3期生メンバー感想



工学研究科機械系専攻機械工学分野 博士後期課程1年 **高井 飛鳥**

今年度で一番記憶に残っているのは、オープンキャンパスで行った女子高生向けの相談会です。大学生生活や研究内容などについて話すことで女子高生の進路選択に微力ながら役に立てたのではないかと思います。またこの他に昨年度の理系女子表彰の副賞を利用して国際学会に参加したり、女子高生向け大学紹介資料のインタビューを受けるなど、IRISの個人活動としても貴重な体験をさせていただきました。

工学研究科機械系専攻機械工学分野 博士前期課程2年 **下山 沙織**

今年度は、小学生向けの理科教室2回と本学のオープンキャンパスに参加し、幅広い年齢層の生徒や多くのIRISの仲間と触れ合うことで、視野を広くもって活動することができたと感じます。特に、理科教室では、小学生に実験原理等をわかりやすく教えるために、教科書等を読み返して自分なりに考えたりすることで、これまで学んできたことの理解を深めることができ、自らの能力向上にも役立ちました。

工学研究科機械系専攻機械工学分野 博士前期課程2年 **中川 侑香**

子どもサイエンス・キャンパスで、厚紙ブーメランを作成しました。ブーメランが完成して上手く飛ばなかった時に、何度もひとりでチャレンジする子、「投げ方」を聞きに来る子、更に丁寧に作り直す子。たった数時間ではありますが、それぞれの子どもの個性を垣間見ることができてとても楽しかったです。

工学研究科電子・数物系専攻電子物理学分野 博士前期課程2年 **梅崎 美亜**

IRISを卒業された先輩方に、自身の経歴を誇りに思っていただけのように、IRISをより素晴らしいチームにしたいと考えた私は、ワーキンググループに参加し、チーム運営に加わることを決めました。ワーキンググループに参加して驚いたことは、会議ではつねにM1のメンバーからも活発に意見が出され、例えばオープンキャンパスのプログラムを決める際は、講演の時間配分などまで細やかに気が配られた点です。IRISはまだ歴史が浅く、チームの運営においては未熟な点もあるかと思えます。その分、このように熱意あるメンバーとともに、より良いIRISを目指して創造していく作業は、とても充実した楽しい経験でした。

工学研究科電気・情報系専攻知能情報工学分野 博士後期課程2年 **上野 未貴**

研究室中心の活動の中で、IRISというメンバー・環境があることが、私の一つの励みになっています。近い環境でありながら、異なる分野で頑張る仲間たちと一緒に、科学の楽しさ楽しさを身近に感じてもらえるよう伝えていきたいです。

工学研究科物質・化学系専攻化学工学分野 博士前期課程2年 **高田 瑠子**

IRISの活動では、私たちが企画した実験を、子どもたちが楽しみながら学ぶ姿を見て、毎回達成感を得ることが出来ました。また活動を通じて、他分野の女子大学院生の方々と出会い、交流することで、私自身の研究に対するモチベーションを高めることが出来ました。IRISは子どもたちに科学の面白さを伝えるだけでなく、メンバー同士が互いに刺激し合える素晴らしい存在であると感じています。

工学研究科物質・化学系専攻応用化学分野 博士前期課程1年 **藤脇 未伽**

私は小学校での子どもサイエンス・キャンパスに参加しました。「小学生に科学の魅力を伝える」という普段の研究と異なる角度で考えることはとても新鮮で、言葉選びなどの不安があった中での実験は保護者の方の助けもあり成功に終わりました。実験中の子どもの目の輝きは今でも忘れられません。活動を通して地域の方の温かさや子どもの学ぼうという純粋な心に触れ、研究者としての社会貢献について改めて考えることができました。

生命環境科学研究科応用生命科学専攻生命機能化学分野 博士前期課程2年 **堀内 寛子**

子どもサイエンス・キャンパスは、初めてIRISに参加した去年よりも、「子どもたちが楽しみながら学んでもらうこと」を強く意識して取組めました。オープンキャンパスでの女子高生との相談会は、参加者が少なかったのが残念ですが、その分しっかりとお話しできたと感じます。また、りんくうキャンパスにも赴いて高校生と実験したり、他研究科のIRISメンバーと実験教室を企画することで、新しい刺激を得ることが出来ました。私自身は、科学の面白さを伝えるIRISの活動や、女性研究者のロールモデル・セミナーなどに参加することで、科学研究に携わる者としての社会的立場の自覚や将来のキャリア構築について考え始めることが出来たことが最大の収穫だったと思います。

工学研究科機械系専攻機械工学分野 博士前期課程1年 **木下 裕美子**

私は、今年度からIRISに参加させていただきました。オープンキャンパスや活動の企画をお手伝いさせていただいた経験から、予想を超えて、理系女子は注目されていると感じました。またIRIS caféでは、これまで交流のなかった分野の方々と繋がりができました。今では、就職活動の悩みなど相談しています。学生生活を、研究だけではなくもっと多くの人と関わる時間にしたいと思いIRISに入りましたが、それが叶えられ満足いく1年でした。

工学研究科電子・数物系専攻電子物理学分野 博士前期課程1年 **宮本 実幸**

理科が好きで一人でも多くの人に理科の楽しさを知ってもらいたいという思いからIRISに参加しました。子どもサイエンス・キャンパスで小・中学生と一緒に実験する機会をいただいた際には、実験に興味を持ってもらう方法や原理を分かりやすく伝える工夫などを考えるときりがなくて、毎回不安でいっぱいでした。しかし、楽しそうに実験してくれているのを見るととても嬉しくて、IRISに参加できて良かったと思いました。

工学研究科電気・情報系専攻知能情報工学分野 博士前期課程1年 **宇野 由里恵**

私はオープンキャンパスで行った、「理系女子コーナー」に参加させていただきました。自分の学生生活や研究を高校生に説明するのは思った以上に難しかったです。特に研究内容を説明する際、専門用語をどう言い換えるかに頭を悩ませました。現在の就職活動で、この経験はとても役立っています。

工学研究科物質・化学系専攻応用化学分野 博士前期課程1年 **鈴木 寛子**

小学生に向けて科学の力を利用した工作・実験を行いました。「どうしてこうなるの?」と科学的に思考する子や、こちらが想定していなかった点に気づく子もおり、子ども達の自由な発想と大きな可能性に驚かされるばかりでした。帰り際にはどの子も素敵な笑顔になっており、実験を通して科学の楽しさを伝えられたのではないかと感じました。

工学研究科量子放射線系専攻量子放射線工学分野 博士前期課程1年 **藤田 萌花**

私がIRISに参加したのは、理系・科学に対して中高生がどのような印象を抱いているかを知りたいという気持ちからでした。理系を志す中高生の科学に対する熱意は、高校時代にただなんとなくで理系を選んだ私が持っていた気持ちより遥かに大きく、想像を超えていました。理系の先輩として彼らに道を示し、夢を与え、夢を応援する立場になりたいと強く感じました。

生命環境科学研究科獣医学専攻獣医臨床科学分野 博士課程2年 **石橋 真紀**

昨年に引き続き、清心女子高等学校の高校生の皆さんと交流し、進学や就職についての相談に乗りました。このような中高生との交流を通し、理系に進学する女子学生が年々増えてきているように感じます。IRISの活動範囲も広がってきているので、今後もより多くの人に理系女子大学院生について知ってもらいたいと思います。

理学系研究科生物科学専攻生命科学分野 博士前期課程1年 **山下 晶子**

IRISの活動で一番印象に残っているのは子どもサイエンス・キャンパスでスライムとスーパーボールを作る実験をしたことです。自分たちで考えて一から企画し、資料作りをする大変さ、また「子ども目録」に立った説明には苦労しましたが、子どもたちの興味津々な眼差しとあふれる笑顔に喜びを感じました。日本の理科離れが問題となっている中で、もっとたくさんの子どものためにサイエンスの面白さを知ってもらいたいと思いました。



〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 (中百舌鳥キャンパスB16棟)
TEL・FAX (072) 254-9856
E-mail w-support@ao.osakafu-u.ac.jp URL http://www.osakafu-u.ac.jp/genki/

編集協力：(IRIS) 堀内 寛子 藤田 萌花
発行：平成26年2月



IRIS 活動報告集Ⅲ

アイリス

大阪府立大学 女性研究者支援センター **2013年度**



科学への夢を育て、未来へはばたく IRIS

—大阪府立大学 理系女子大学院生チーム—

女性研究者支援センター長 **田間 泰子** (人間社会学研究科 教授)

大阪府立大学は、平成22年度に全国の公立大学として初めて、文部科学省の女性研究者支援モデル育成事業に採択されました。現在まで鋭意、さまざまな女性研究者支援事業を実施しています。理系女子大学院生チームは、その重要な事業の一つとして平成23年度に第1期生が学長より任命されたことに始まり、1年の任期で、人々に科学の面白さを伝えることを目的に活動しています。IRISという名称とその美しいロゴは、「I am a Researcher In Science」という自負を込め、大学本部のある堺市の市花にちなんで、第1期生たちが決めました。IRISは、科学を愛する素晴らしい女性たちであり、卒業後は社会で大いに活躍が期待されています。さらに、大阪府内各地で「子どもサイエンス・キャンパス」を開き、子どもたちに科学の面白さを伝え、科学分野での女性の活躍のお手本ともなっています。皆様にも、IRISと科学分野での女性の活躍を応援していただければ幸いです。

大阪府立大学男女共同参画宣言

2005年(平成17年)、大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学の府立三大学を統合・再編して新しくスタートを切った大阪府立大学は、「高度研究型大学-世界に翔く地域の信頼拠点-」を基本理念に掲げ、これを実現するために大切にしたい視点として「多様」「融合」「国際」という3つのキーワードを挙げています。本学ではこの基本理念のもとで、多様性の実現こそが今後の教育研究の活力の源泉であるとの認識の下、若手研究者や外国人研究者、女性研究者の積極的登用を実現すべく、「多様な人材活用推進の基本方針」を定め、「多様」な人材が集い、互いに切磋琢磨し価値を「融合」することで新しい知を創出し、広く「国際」社会に発信していく「知の拠点」となるべく取り組んできました。国においては、第4期科学技術基本計画で「男女共同参画の観点はもとより、

多様な視点や発想を取り入れ、研究活動を活性化し、組織としての創造力を発揮する上でも、極めて重要である」として、女性研究者の一層の登用及び活躍促進に向けた環境整備を行うことを定めています。本学においても、科学技術基本計画のこの方針を尊重し、公立大学として地域社会に信頼される「知の拠点」となるため、女性研究者支援事業の実施を契機としてさらに取組みを進めて、男女共同参画を実現することが必要です。大阪府立大学は、性別にかかわらず、様々な年代層の教職員や学生が能力をいかして活躍できるよう、学びやすく、またワークライフバランスに配慮した環境を整備することに取り組み、男女共同参画を積極的に推進することをここに宣言いたします。

平成25年5月31日
大阪府立大学 学長 奥野 武俊



● IRIS 第3期生 (26名)

| 氏名 | 研究科 | 専攻 | 分野 | 学年 |
|-------|-------|--------|--------|----------|
| 高井 飛鳥 | 工学研究科 | 機械系 | 機械工学 | 博士後期課程1年 |
| 下山 沙織 | | | | 博士前期課程2年 |
| 中川 侑香 | | | | 博士前期課程2年 |
| 木下裕美子 | | | | 博士前期課程1年 |
| 田中 萌子 | | | | 博士前期課程1年 |
| 梅崎 美亜 | 工学研究科 | 電子・数物系 | 電子物理学 | 博士前期課程2年 |
| 宮本 実幸 | | | | 博士前期課程1年 |
| 岡本 純香 | | | | 博士前期課程2年 |
| 橋本 静香 | | | | 博士前期課程1年 |
| 上野 未貴 | | | | 博士後期課程2年 |
| 井戸 彩華 | 工学研究科 | 電気・情報系 | 知能情報工学 | 博士前期課程2年 |
| 宇野由里恵 | | | | 博士前期課程1年 |
| 村西 真依 | | | | 博士前期課程1年 |
| | | | | 博士前期課程1年 |

| 氏名 | 研究科 | 専攻 | 分野 | 学年 |
|-------|-----------|----------|---------|----------|
| 高田 瑠子 | 工学研究科 | 物質・化学系 | 化学工学 | 博士前期課程2年 |
| 鈴木 寛子 | | | 応用化学 | 博士前期課程1年 |
| 藤脇 未伽 | | | 量子放射線系 | 博士前期課程1年 |
| 藤田 萌花 | 生命環境科学研究科 | 量子放射線系 | 量子放射線工学 | 博士前期課程1年 |
| 堀内 寛子 | | | 応用生命科学 | 生命機能化学 |
| 石橋 真紀 | 生命環境科学研究科 | 獣医学 | 獣医臨床科学 | 博士課程2年 |
| 尾崎 由季 | | | 理学系研究科 | 生物科学 |
| 西川 麻裕 | 生命科学 | 博士前期課程1年 | | |
| 山下 晶子 | 光生体制御 | 博士前期課程1年 | | |
| 和田 優 | 分子生物学 | 博士前期課程1年 | | |
| 大久保陽子 | 分子細胞遺伝学 | 博士後期課程2年 | | |

2013年度 IRIS 活動報告

※各実験内容の詳細はホームページで紹介しています。
 ▶ URL <http://www.osakafu-u.ac.jp/genki/>

子どもサイエンス・キャンパス

理系で活躍している女子大学院生の存在を知ってもらい
 科学の楽しさを伝えるために子どもサイエンス・キャンパスを開催しました。

物理系



●中百舌鳥町こども会 「ブーメランをつくろう！」

2013年7月30日(火)
 会場：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
 主催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 共催：中百舌鳥町こども会
 参加者数：40名
 IRIS：(工)下山 (工)中川 (工)岡本

●堺商工会議所(メイドインさかいフェア) 「くだもの電池をつくろう！」

2013年11月10日(日)
 会場：堺商工会議所
 主催：堺商工会議所
 協力：大阪府立大学
 参加者数：112名
 IRIS：(工)田中 (工)梅崎 (生)堀内

●河内長野市男女共同参画センター・河内長野市教育委員会青少年育成課 「もしもしホーンをつくろう 針金電話をつくろう」

2013年11月17日(日)
 会場：河内長野市子ども・子育て総合センター(あいっく)
 主催：河内長野市男女共同参画センター
 河内長野市教育委員会青少年育成課
 共催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 参加者数：30組62名
 IRIS：(工)宮本 (工)鈴木 (生)堀内

●吹田市立男女共同参画センター 「科学に恋するクリスマス～スノードームをつくろう～」

2013年12月14日(土)
 会場：吹田市立男女共同参画センター(デュオ)
 主催：吹田市
 共催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 参加者数：17組35名
 IRIS：(工)宮本 (工)鈴木

●堺市教育委員会(堺で科学 サカイエンス2014) 「ヘリコプターゴマをつくろう」

2014年2月2日(日)
 会場：堺市教育文化センター(ソフィア・堺)
 主催：堺市教育委員会
 後援：大阪府立大学
 参加者数：112名
 IRIS：(工)中川 (工)高田 (理)尾崎

●大阪市男女いきいき財団 「二酸化炭素 de おやつ作り！」

2013年8月22日(木)
 会場：大阪市立男女共同参画センター西部館
 (クレオ大阪西)
 主催：大阪市立男女共同参画センター西部館
 共催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 参加者数：14名
 IRIS：(工)梅崎 (工)宮本

●和泉市男女共同参画センター 「パパと実験はじめよう！ スーパーボールとスライムって作れるの？」

2013年8月24日(土)
 会場：和泉市男女共同参画センター研修室
 主催：和泉市男女共同参画センター
 共催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 参加者数：15組33名
 IRIS：(工)高田 (理)山下

●和泉市青葉台子ども会 「はずむシャボン玉をつくろう！」

2013年9月7日(土)
 会場：あおば会館
 主催：和泉市青葉台子ども会
 共催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 参加者数：30名
 IRIS：(理)大久保 (理)徳弘

●いずみさの女性センター 「マーブリングでポストカードを作ろう 水中シャボン玉を作ろう」

2013年12月21日(土)
 会場：泉佐野市立生涯学習センター
 主催：いずみさの女性センター
 共催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 参加者数：18名
 IRIS：(工)下山 (工)橋本

●和泉市立青葉はつが野小学校PTA 「酵素パワーを体験しよう！」

2013年10月12日(土)
 会場：和泉市立青葉はつが野小学校
 主催：和泉市立青葉はつが野小学校PTA
 共催：大阪府立大学女性研究者支援センター
 参加者数：58名 IRIS：(工)藤脇 (生)堀内

生物系



※ IRIS の氏名の前の片括弧は所属を表す。
 (工) 工学研究科 (生) 生命環境科学研究科 (理) 理学系研究科

高校生との交流会 (オープンキャンパス)

「めざせ！理系女子コーナー：先輩と話そう」

2013年8月3日(土)、4日(日) 場所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
 主催：大阪府立大学女性研究者支援センター 参加者数：のべ60名
 IRIS：(工)高井 (工)下山 (工)木下 (工)梅崎 (工)橋本 (工)宇野 (工)藤脇 (工)藤田
 (生)堀内 (理)尾崎 (理)西川 (理)山下 (理)和田

理系への進路を考えている女子高校生・受験生とその保護者を対象に交流会を開催しました。IRIS が講師となり専門分野の研究や大学生活について講演した後、高校生や保護者からの質問に IRIS が答えました。参加者からは「普段聞くことができない話が聞け、理系進学に対する理解が深まった」という感想が多くありました。



IRIS 講習会

企画実施講習会

2013年6月15日(土) 場所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
 主催：大阪府立大学女性研究者支援センター 参加者数：10名
 講師：大角 泰史(地域連携研究推進課地域連携室長)

子ども向け科学教室の企画・実施の方法を学ぶ講習会を行いました。講師の体験談を聞き、子ども達に科学を伝えるサイエンスコミュニケーションのスキルを学んだ後、グループで実際に企画し、発表するワークショップを行いました。



企業との連携・研修



企業訪問—シャープ株式会社

2014年2月7日(金) 場所：シャープ株式会社総合開発センター
 主催：大阪府立大学女性研究者支援センター 参加者数：17名

シャープ株式会社天理事業所を訪問、「シャープミュージアム」を見学し、商品技術の歴史について説明を受けた後、同社が取り組んでいるダイバーシティの推進について、人づくり推進部採用担当部長よりお話をいただきました。また、ロールモデルとして技術系女性社員3名とワークショップを行い、ワークライフバランスなどの話を聞き、それについて質問をするなどして交流しました。

IRIS 交流会

IRIS café

2013年7月3日(水)、9月24日(火)、11月8日(金)、2014年1月16日(木)、3月20日(木)(予定)
 幹事名：(工)梅崎 (工)木下 (工)藤田 (生)堀内

IRIS のメンバーが交流する「IRIS café」を定期的に行っています。ランチタイムに集まり、研究や学生生活などを話しながら、専門分野を超えて交流しています。

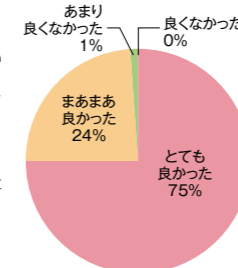


アンケート集計結果 & 参加者からの声

●子どもサイエンス・キャンパス

参加者

- とても楽しかった。ふだん、学校ではこんな楽しい実験はあまりしないから、こうしたらこんなことが出来るとかが覚えやすかった。
- 私たちに、難しいことをわかりやすく教えてくれたので、よく理解できました。
- なっとうで絵をかけるのはすごかった。とてもたのしかった。
- 家でもかんたんに作れてはずむシャボン玉を作れてうれしかった。
- ちょっと作るのがむずかしかったけれど、だんだんやってみればかんたんにできてきました。お姉さんが、やさしく教えてくれたので、うれしかったです。



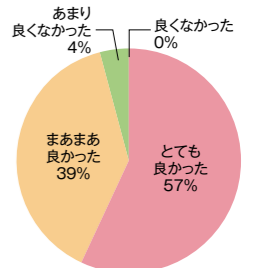
保護者

- 真剣に実験に取り組んで、できた時の笑顔が印象的で、きっと今回のことをよく覚えていると思います。また参加できればと思います。
- 子どもたちが熱心に取り組んでる姿が印象的でした。説明やサポートがわかりやすく良かったです。大人も楽しめそうな内容ですね。最後の大学院生活等の説明、とても興味深かったです。ありがとうございました。
- 意外と簡単にできました。子どもが喜んでるのが何より良かったです。大学生生活の話が聞けて良かったです。わかりやすかったです。子どもも大学がどういう所かという事がわかったと思います。
- 身近な物を使った実験は、子どもが興味をもちやすく、わかりやすく、大変良かったです。これからも身近な物を使って実験をして頂けると化学に対するハードルが下がるように感じます。

●高校生との交流(オープンキャンパス)

参加者

- 時間割などが知れてよかったです！
- いろんな視点から話がきけたのがよかったです！
- 就職先などが心配だったので参加させて頂きました。
- 私のオープンキャンパスに来る一番の目的は、現役の学生さんたちの様子を知ることなので、とても参考になりました。



保護者

- 博士課程の学生の方の素直な声が聞けてよかったです。特に自己紹介や進路決定の理由・専攻の内容・やりたいこと夢、我が子にとっては身近で貴重な贈り物をいただきました。ありがとうございました。
- 理系女子にイメージしていた「賢い・キツそう」が大変偏見であったことがわかりました。ふつうの女の子たちが研究していることがわかり、娘にもめざしてほしいと思いました。